



## 2019年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年4月15日

上場会社名 株式会社マネーフォワード 上場取引所 東  
 コード番号 3994 URL https://corp.moneyforward.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 辻 庸介  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 内河 俊輔 TEL 03 (6453) 9160  
 四半期報告書提出予定日 2019年4月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年11月期第1四半期の連結業績（2018年12月1日～2019年2月28日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年11月期第1四半期	1,397	54.3	△941	—	△984	—	△1,083	—	△1,154	—
2018年11月期第1四半期	905	77.5	△94	—	△123	—	△131	—	△128	—

(注) 包括利益 2019年11月期第1四半期 △1,179百万円 (—%) 2018年11月期第1四半期 △136百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年11月期第1四半期	△54.40	—
2018年11月期第1四半期	△6.68	—

※EBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）

(注) 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2019年11月期第1四半期	14,500		8,942		60.7
2018年11月期	8,660		3,383		37.3

(参考) 自己資本 2019年11月期第1四半期 8,801百万円 2018年11月期 3,231百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年11月期	—	—	—	—	—
2019年11月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年11月期の連結業績予想（2018年12月1日～2019年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,122	55.0	△2,600	—	△2,760	—	△2,790	—	△128.51
	～7,581	～65.0	～△2,100	—	～△2,260	—	～△2,290	—	～△105.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(参考) EBITDA 2019年11月通期（予想） △2,420百万円～△1,920百万円

2019年11月期の連結業績予想については、レンジ形式により開示しております。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 2

「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年11月期 1 Q	21,790,200株	2018年11月期	19,329,640株
② 期末自己株式数	2019年11月期 1 Q	－株	2018年11月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年11月期 1 Q	21,232,083株	2018年11月期 1 Q	19,183,678株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2019年4月15日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、当社ホームページに掲載します。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループが属する国内のFintech(注1)市場におきましては、金融庁や経済産業省を中心とした、銀行法の改正、仮想通貨法の成立、電子帳簿保存法の改正・施行など、Fintechベンチャー企業を支援する法環境の整備、各金融機関・大手システムインテグレーターによる動きの活発化、さらには、Fintech市場における大型の資金調達事例が増加するなど、今後も成長が見込まれる市場として注目を集めております。

矢野経済研究所「2018FinTech市場の実態と展望」によれば、国内Fintech市場規模は2017年度の1.0兆円から2021年度には1.9兆円に達すると見込まれております。

また、クラウドサービスへの理解や、スマートフォン・タブレット端末の活用が進展を見せ、新しい形態・領域に対するITサービスの浸透が進んでまいりました。

このような環境において、当社グループは「お金を前へ。人生をもっと前へ。」というミッションの下、法人向けサービスを提供するMoney Forward Businessドメイン、個人向けサービスを提供するMoney Forward Homeドメイン、金融機関のお客様向けにサービス開発を行うMoney Forward Xドメイン、新たな金融ソリューションの開発を行うMoney Forward Financeドメインの4つのドメインにおいて、事業を運営してまいりました。

Money Forward Businessドメインでは、バックオフィス向けの業務効率化クラウドソリューション『マネーフォワードクラウドシリーズ』において、確定申告需要を取り込み、売上が順調に推移いたしました。また、クラウド記帳サービス『STREAMED』、経営分析クラウド『Manageboard』の営業強化にも注力いたしました。

Money Forward Homeドメインでは、自動でオンラインバンキングなどから金融機関データの取得・仕訳を行うPFM(注2)サービス『マネーフォワードME』においてテレビコマーシャルを実施し、新規ユーザーおよび休眠ユーザーへのサービス訴求、ブランド認知度向上に注力し、利用者数が順調に推移いたしました。一方で、『miraitalk』については、家計改善につながる専門家からのアドバイスをはじめとするプログラムに高い満足をいただいている一方で、ライフプラン診断や家計改善プログラムで、幅広い利用者の皆様に高い質のサービスを提供し続けるにあたり、知見と経験を十分に持つファイナンシャルプランナーを採用、育成し続け、事業としてスケールしていくことが厳しいと判断し、事業の縮小を決定いたしました。このため、当第1四半期連結会計期間において、12,533千円の特別損失を計上しております。

Money Forward Xドメインにおいては、『マネーフォワードfor〇〇』や『デジタル通帳』など、金融機関のお客様に向けた便利なサービスの開発に努めており、新たなサービス提供先が増加しております。

Money Forward Financeドメインにおいては、企業間後払い決済サービス『MF KESSAI』の取扱高が、営業強化、認知度向上により順調に増加しております。一方で、マネーフォワードフィナンシャル株式会社にて、仮想通貨交換所を通じてのブロックチェーン・仮想通貨の普及と実用化を目指しておりましたが、2019年4月15日開催の同社取締役会において、仮想通貨関連事業への参入延期を決議し、当第1四半期連結会計期間において、61,395千円の特別損失を計上しております。

また、期初時点の計画通り、いずれのドメインにおいても、将来を見据え、組織体制の強化のための人材採用や、プロモーション実施による広告宣伝等の先行投資を実行いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高1,397,539千円(前年同四半期比54.3%増)、EBITDA(営業損失+減価償却費+のれん償却額)△941,164千円(前年同四半期は△94,138千円のEBITDA)、営業損失984,304千円(前年同四半期は123,336千円の営業損失)、経常損失1,083,617千円(前年同四半期は131,829千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,154,918千円(前年同四半期は128,160千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となっております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は11,957,950千円となり、前連結会計年度末に比べ5,744,504千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が5,508,437千円及び買取債権が323,295千円増加したことによるものであります。固定資産は2,542,819千円となり、前連結会計年度末に比べ96,095千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が63,742千円及び投資その他の資産が53,918千円増加し、のれんが27,546千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は14,500,769千円となり、前連結会計年度末に比べ5,840,600千円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,245,207千円となり、前連結会計年度末に比べ396,277千円増加いたしました。これは主に短期借入金が268,000千円、未払金が202,253千円及び未払費用が65,498千円増加したことによるものであります。固定負債は2,313,186千円となり、前連結会計年度末に比べ114,617千円減少いたしました。これは主に長期借入金が115,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,558,394千円となり、前連結会計年度末に比べ281,659千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は8,942,375千円となり、前連結会計年度末に比べ5,558,941千円増加いたしました。これは主に資本金が3,385,384千円及び資本剰余金が3,121,074千円増加し、利益剰余金が917,812千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における連結業績は、概ね当初計画どおり推移していることから、通期の業績予想については前回発表予想を修正しておりません。

(注1)Fintech

Finance と Technology を組み合わせた概念で、金融領域におけるテクノロジーを活用したイノベーションの総称をいいます。

(注2)PFM

「Personal Financial Management」の略称であり、個人の金融資産管理、家計管理をサポートするサービスをいいます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,951,530	10,459,967
受取手形及び売掛金	590,982	481,948
たな卸資産	8,889	19,707
買取債権	362,115	685,410
その他	305,332	316,415
貸倒引当金	△5,404	△5,499
流動資産合計	6,213,445	11,957,950
固定資産		
有形固定資産	288,642	352,384
無形固定資産		
のれん	893,407	865,861
その他	10,646	16,628
無形固定資産合計	904,053	882,489
投資その他の資産	1,254,027	1,307,945
固定資産合計	2,446,723	2,542,819
資産合計	8,660,169	14,500,769
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	189,917	114,369
短期借入金	555,000	823,000
1年内返済予定の長期借入金	510,000	510,000
未払金	236,959	439,213
未払費用	428,688	494,186
未払法人税等	29,172	22,563
前受収益	774,649	782,114
その他	124,543	59,760
流動負債合計	2,848,930	3,245,207
固定負債		
長期借入金	2,425,000	2,310,000
その他	2,804	3,186
固定負債合計	2,427,804	2,313,186
負債合計	5,276,735	5,558,394
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,378,155	6,763,540
資本剰余金	726,723	3,847,798
利益剰余金	△873,822	△1,791,643
株主資本合計	3,231,057	8,819,695
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,677	△19,552
為替換算調整勘定	1,761	1,337
その他の包括利益累計額合計	△2,915	△18,215
新株予約権	60,007	58,814
非支配株主持分	95,284	82,080
純資産合計	3,383,433	8,942,375
負債純資産合計	8,660,169	14,500,769

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)
売上高	905,991	1,397,539
売上原価	295,871	651,272
売上総利益	610,120	746,266
販売費及び一般管理費	733,457	1,730,571
営業損失(△)	△123,336	△984,304
営業外収益		
受取利息	18	31
助成金収入	—	570
その他	2	16
営業外収益合計	21	617
営業外費用		
支払利息	5,705	6,906
株式交付費	2,165	90,401
その他	644	2,622
営業外費用合計	8,514	99,931
経常損失(△)	△131,829	△1,083,617
特別利益		
新株予約権戻入益	2,464	475
特別利益合計	2,464	475
特別損失		
減損損失	—	12,533
事業整理損	—	61,395
特別損失合計	—	73,928
税金等調整前四半期純損失(△)	△129,365	△1,157,070
法人税、住民税及び事業税	2,012	6,732
法人税等調整額	—	892
法人税等合計	2,012	7,625
四半期純損失(△)	△131,378	△1,164,696
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,218	△9,778
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△128,160	△1,154,918

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)
四半期純損失(△)	△131,378	△1,164,696
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,740	△14,875
為替換算調整勘定	—	△424
その他の包括利益合計	△4,740	△15,299
四半期包括利益	△136,118	△1,179,996
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△132,900	△1,170,217
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,218	△9,778



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、2018年12月20日を払込期日とする海外募集による公募増資により、資本金及び資本準備金がそれぞれ3,375,312千円増加しております。

また、2019年2月24日開催の定時株主総会において、欠損の填補を目的とする無償減資について決議し、当該決議について、2019年2月24日に効力が発生しております。この結果、当第1四半期連結累計期間において、資本剰余金が264,310千円減少、利益剰余金が264,310千円増加しております。

これらにより、当第1四半期連結会計期間末において資本金が6,763,540千円、資本剰余金が3,847,798千円、利益剰余金が△1,791,643千円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループは、プラットフォームサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。